



学校訪問交流

柏台小学校

八坂神社山車

平笠小学校

文化体験

むらさき苑訪問交流

日本の文化・生活を体験

タマサート大学生9人が八幡平市へ

タイ国タマサート大学日本語学科の学生9人と教員1人は、7月12日から20日までの9日間、本市に滞在しました。学生たちとホストファミリーの会、地域住民との交流を紹介します。



文化交流

さまざまなイベントに参加
地域住民と交流を深める

タマサート大学の学生たちは、さまざまなイベントなどに参加し地域住民と交流を深めました。

15日は、八坂神社祭典の山車運行に参加。地域住民とともに「やーれやーれ」と掛け声を上げ、大更地区内を練り歩きました。

16日は、各小学校(大更、平笠、松野、柏台)に分かれて訪問。書道や太鼓などを体験し、児童たちと交流を深めました。夜には、大更コミュニティセンターで日・タイ文化交流会が開かれ、郷土芸能の相互披露や、両国の料理を紹介し合い、関係者やホストファミリーらと親睦を深めました。

18日から19日は、東慈寺保育園や特別養護老人ホームむらさき苑、松野学童保育クラブを訪問し、タイダンスを披露するなど、地域住民と触れ合いました。

最終日の20日に、ホストファミリーと別れを惜しみながら、帰国の途につきました。

Interview 市ホストファミリーの会 工藤保さん

今年で27人の学生を受け入れ
孫たちにとって国際交流を感じる貴重な体験

今回の学生、パンさんとカートゥンさんを含め、今まで27人を受け入れました。日本語が上手なので、言葉の不便さは感じませんが、孫たちが「離れたくない」というほど懐いてくれて、2人にはとても感謝しています。孫にとって貴重な体験となりました。今後もホストファミリーの活動を続けていきたいです。



タマサート大学生2人を受け入れた工藤保さん(後列左)、順子さん(前列右)ファミリー

Interview 市ホストファミリーの会 会長 鈴木信一さん

学生たちが本市との懸け橋になってくれることを期待
双方の交流が末永く続くよう願う

毎年、事故なく元気に過ごしてもらいたいという思いで学生を受け入れています。今年も無事に終えることができ、安堵しました。ホームステイした学生が将来、本市とタイ国との懸け橋になってもらえるとうれしいです。

学生たちは帰国後、日本へ留学することが多く、私が一昨年に受け入れた学生が今年、会いに来てくれました。八幡平ドラゴンアイを案内したところ、とても感激して喜んでくれました。学生たちとは、今でも交流が続いています。

本会(会員28ファミリー)は今年で25周年を迎え、307人の学生を受け入れて交流を深めてきました。会員の高齢化が進んできており、若い会員を増やしていきたいです。これからも双方の交流が末永く続くよう願っています。



タマサート大学生と
交流を深めませんか

市ホストファミリーの会では、会員を募集しています。

タイ国タマサート大学生のホストファミリーとなって、交流を深めませんか。

■問い合わせ先 市地域振興課地域振興係 ☎・内線1147

